

## ポコとのせいかつで

四年 橋本栞汰

ぼくの家には、ポコという犬がいます。

トイプードルというしゅ類で、六才の毛がふさふさしている犬です。色は、グレーのかわいいメスの犬です。

ポコは、前は友達の家でかっていたけど、友達が犬アレルギーになったので、ぼくの家でかうことになりました。

ぼくたちは、家族でポコをおおうかわかないかなんども考えました。

でもかわないと、友達の家ですつと犬の家の中にいるのはかわいそうだから、ぼくたちはポコをかうことに決めました。

ポコは、とてもかしくくてでかける時に急いでいるとハウスといわなくてもハウスしてくれます。

ポコをおふろにいらてきれいにしてあげる時、とてもきもちよさそうな顔をするのでとてもかわいいです。

ポコがきてからいろいろなことを気をつけることになりました。

たとえば、今までは、勉強してえんぴつやけしゴムをそのままにすることがあったけど、ポコがまちがえて食べてしまったら大変なのでしつかりとかたづけようになりました。食事やおやつを食べるときも、ゆかにこぼさないように気をつけるようになりました。

家の中でポコは、自由にすごしているので家の前でぼくがサッカーの練習をするとき、まちがえてでてしまわないようにドアをしめてくようになりました。ポコは、まどからわんわんほえながらサッカーの練習をおうえんしてくれています。

気をつけることがふえたけど、それいじょうにうれしいこともたくさんあります。ポコがきたことで、家のふれあいがふえたと思います。

ポコがきてから、家族でポコの話をたくさんするようになりました。夕方になると家族でポコのさんぽにいきます。さんぽ中も、家族で話をしながら歩いたり、ほかのさんぽをしている犬やその家族と知り合いになったりあるかないとわからない近所の発見がありました。

コロナになって家にいる時間がふえたけど、ポコがきてくれたので毎日たのしいです。

これからもポコは、ぼくのかぞくの一人として大切にそだてていきたいし、いっしょにたのしんでいきたいです。